

平成29年度
社会福祉法人新地町社会福祉協議会 事業報告書

社会福祉事業の健全な発達及び活動の活性化により、地域福祉の推進を図ることを目的に事業を進めてまいりました。地域福祉事業では、民生児童委員協議会やボランティア団体と協働して、ひとり暮らし高齢者、高齢者世帯の支援活動を実施しました。また障がい者団体や老人クラブ連合会等への活動育成に努めました。

平成23年10月に開所しましたサポートセンターまごころ事業については、東日本大震災により被災された高齢者等の支援を行ってまいりましたが、仮設住宅入居者減少に伴い9月末日をもって終了しました。しかし再建された方の中には、まだ心身の健康面に不安をかかえている方もおり支援が必要な状況から、生活支援相談員による訪問活動を継続して実施しました。

高齢者が、住み慣れた地域で支え合い安心して暮らせる地域づくりを目指し、生活支援体制整備事業に取り組みました。

介護保険事業として居宅介護支援事業所・訪問介護事業所の運営を行いました。

1. 組織体制の充実と自主財源の確保

① 理事会、評議員会の開催

理事会4回、評議員会3回開催し、17件の議案について審議した。

監査会は事業部門及び経理部門を精査し、適正に処理されていることが確認された。

② 財源基盤の強化の推進

社会福祉協議会の事業運営は、町からの補助金と会員の会費によって行っている。行政区長のご協力をいただき、全戸会員を目指し募集にあたった。

○会費

会員区分	金額	内 訳
一般会員	2,232,000円	1,000円×2,232戸=2,232,000円
特別会員	300,000円	5,000円×44名=220,000円 10,000円×2名=20,000円 議会議員互助会 60,000円
法人会員	690,000円	10,000円×58社=580,000円 20,000円×1社=20,000円 30,000円×3社=90,000円
合計	3,222,000円	

○寄付金

一般寄附	7件	418,284円
ご遺志金	3件	650,000円
災害義援金	2件	77,673円
合計	12件	1,145,957円

2. 地域福祉の充実

① 地域福祉事業の推進

1) 民生児童委員協議会との協働活動の強化

高齢者の状況に応じたサービスの提供と、緊急時に対応するため民生児童委員からの「福祉票」によりその把握に努めた。

H30.3.31現在

(対象者：70歳以上)

高齢者世帯	106世帯
ひとり暮らし高齢者世帯	127世帯

2) 社協だより「まごころ」の発行

年3回

ホームページの活用

3) 福祉関係団体の育成援助

福祉団体に対し、活動費の助成及び事務的援助を行った。

10団体 230,000円

4) 生活援助資金の貸付 (H30.3.31現在)

○生活福祉資金の貸付状況 (福島県社会福祉協議会)

5名 2,782,434円

○生活援助資金の貸付状況 (新地町社会福祉協議会)

20名 (実利用者8名) 470,500円

5) 心配ごと相談所事業の推進

町民の日常生活上の悩みごと相談に応じ、適切な助言を行うため毎月3回相談所を開設した。相談内容も複雑多様化しているため、弁護士による法律相談を3回開設した。

心配ごと相談

相談員 … 8名	開催日 … 36日
相談者 … 3名	相談件数 … 3件

弁護士法律相談

弁護士 … 3名	開催日 … 3日
相談者 … 6名	相談件数 … 6件

6) 生活支援体制整備事業の推進 (新地町委託事業)

生活支援コーディネーターを配置し、高齢者が住み慣れた地域で支え合い安心して暮らせる地域づくりを目指し勉強会を実施。

	参加者	内 容
第1回	120名	・新地町の介護保険の現状と介護予防について (健康福祉課) ・もっと豊かな地域をつくるには (さわやかインストラクター 大山重敏氏講演)
第2回	32名	・地域の宝物探しからはじまる地域づくり (CLC 東北福祉大学教授 高橋誠一氏講演)
第3回	29名	・地域の宝物探し (集いの場紹介) ・グループワーク

3. 在宅福祉サービスの推進

① 高齢者福祉事業

1) 介護保険制度に伴うサービスの提供

○ケアプランの作成

延べ取扱件数	403件
--------	------

○訪問介護事業

身体介護	延べ回数	1,606回
排泄の介護・入浴の介護・身体清拭・通院介護		

生活援助	延べ回数	1,187回
衣類の洗濯、住居等の清掃、生活必需品の買物等		

身体生活	延べ回数	1,082回
介護と家事の複合型		

介護予防	延べ回数	89回
------	------	-----

○介護保険外移送サービス事業 (新地町委託事業)

移送サービス事業	2名	21回
----------	----	-----

2) 集合・配食サービスの実施

町内に住む70歳以上のひとり暮らし高齢者を対象に安否確認、健康保持と生きがいつくりのための事業を行った。

集合サービス	10回	参加者 321名	月1回ボランティア団体の協力を得、会食を通し交流を深めた。
配食サービス	30回	利用者 1,708名	月3回町内の業者・新地ホームで作られた手作り弁当を、民生児童委員が見守りも兼ねて配食した。

3) 高齢者世帯交流会の実施

町内に住む70歳以上の高齢者世帯を対象に、社会参加や参加者同士の交流を通して心身の気分転換を図るための事業を行った。

4) 老人クラブ活動育成

高齢者の生きがいと健康づくりのために、地域の老人クラブの果たす役割は大きい。指導員を雇用し、老人クラブの各種事業を通して単位老人クラブの育成指導を行った。

5) 福祉機器貸与事業利用者

特殊寝台・車椅子等を平成30年3月末で合計48台を保有
平成29年度の利用者は24名であった。

② 障がい者福祉事業

1) 身体障がい者福祉協会

レクリエーション交流会、県グラウンドゴルフ大会、相馬福祉会事業への支援

2) 手をつなぐ親の会

お楽しみ会等への支援

4. 福祉ボランティアの町づくり事業の推進

① ボランティア思想の啓蒙及び団体の育成支援

ボランティア連絡協議会事業への協力支援

② いきいきサロンの開設

15地区の団体が自主的に運営し、閉じこもりの防止と生きがいつくりを努め

た。

開設地区

〔 大山田 明地 中里 下真弓 上真弓 新地町 小川 雁小屋 大戸浜 今泉
菅谷 高田 駒町 藤崎 富倉 〕

5. 共同募金・日本赤十字活動の推進

○行政区長の協力をいただき地域住民等への募金活動を行った。

○歳末助け合い事業

- ・ひとり暮らし高齢者・高齢者世帯・在宅介護者・在宅障害者への商品券の配付。
- ・町内福祉施設への配分。
- ・ひとり暮らしを対象としたお楽しみ会(交流会)の実施。

募金項目	目標額(円)	実績額(円)	達成率(%)
赤い羽根共同募金	1,454,000	1,443,784	99.3
歳末助け合い運動	1,162,000	1,192,951	102.7
日赤社資運動	1,189,000	1,233,500	103.7

6. 日常生活自立支援事業(地域福祉権利擁護事業)

判断不十分な方への福祉サービス利用援助・日常的金銭管理サービス・書類等の預かりサービス及び生活全般にわたる相談・助言の提供。

金銭管理・書類等の預かり	1名	23回
--------------	----	-----

7. 東日本大震災による被災者の支援

①生活支援ボランティアセンター

集団移転地区等での生活支援ボランティア・お茶会・交流会等、ボランティア活動の調整を行った。

②生活支援相談員の配置

福島県社会福祉協議会より委託を受け、生活支援相談員を3名配置し、仮設住宅および借上げ住宅、防災集団移転団地への全戸訪問を定期的に行い、入居者の生活相談に応じた。必要に応じて、保健・福祉関係者及び行政との連携を図り状況把握に努め、孤立防止等の支援を行った。

③サポートセンターまごころ

(応急仮設住宅地域高齢者等サポート拠点)の管理運営

福島県より委託を受け、仮設住宅や防災集団移転団地・災害公営住宅等で生活する高齢者等への生活支援を行った。

サポートセンターの実績 (平成29年9月末日事業終了)

総合相談	受付相談件数	19件
配食サービス	延べ	2,400食

新地町社会福祉協議会が事務局を担当する団体

1. 老人クラブ連合会
2. 身体障がい者福祉協会
3. 手をつなぐ親の会
4. 戦没者遺族会連合会
5. 民生・児童委員協議会
6. ボランティア連絡協議会
7. 赤十字奉仕団
8. 日本赤十字社福島県支部新地町分区
9. 新地町共同募金委員会